大型連休が明けて２０１９

　子どもたちの声が学校に帰ってきました。朝、校門で「おはよう」のあいさつをしながら、子どもたちの笑顔を見るとやはりホッとします。連休中の子どもが被害にあった痛ましいニュースを見るたびに、胸が締め付けられる思いがしました。

　「子どもたちに悲しい思いをさせない」これが私たち教職員の行動規準の根底にあります。同じように、子どもたちのことで悲しい思いをしたくないという大きな願いをもっています。月があけ、元号も変わりました。私自身もそして釜利谷小学校教職員一同も、子どもたちも、新たな気持ちで大型連休明けに臨んでいきたいと思っています。